

PLUG MAGIC シリーズ PIO アダプタ

AXC-PI01

ユーザーズマニュアル

目次

はじめに	1
すべて揃っていますか	3
ご注意	4
保証規定	5
安全上の注意	6
1. 製品の仕様	8
2. カードの取り付け、取り外し	9
2-1. 付属ケーブルのカードへの取付け方	9
2-2. 付属ケーブルの取り外しかた	9
2-3. PDAへのカード取付け方	10
2-4. カードの取出し	10
3. ソフトウェアの組み込み	11
4. アプリケーションの作成	11
4-1. 操作手順、アプリケーションの作成	11
5. 外部信号との接続	12
5-1. コネクタ信号	12
5-2. 入力信号等価回路	13
5-2. 内部レジスタ	13
5-3. 信号接続例	17
製品のメンテナンスについて	18
製品のお問い合わせについて	19
改訂履歴	20

はじめに

このたびは、PLUG MAGIC シリーズ PIO アダプタカード、AXC-PI01 をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

本製品の性能を十分にご活用いただくため、本書を熟読され、正しい使用法で末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

※本製品の使用および外観は製品改良のため予告無く変更する場合があります。

— 動作環境 —

■本製品は以下の動作環境でご使用ください。

対応機種：Pocket PC 2002/2003 日本語版または Windows Mobile5.0 搭載機

※ ご使用の前にご使用になる機種にコンパクトフラッシュカードスロットがあるかをご確認ください。また、『1. 製品の仕様』の『使用スロットに関して』も併せて御覧ください。

※ Windows Mobile 5.0 では、デバイスを挿入した状態で電源投入を 2 回以上繰り返すと、デバイスが抜かれたままと同じ状態になる場合があります。その場合、一旦デバイスを抜き、再度挿入してください。

— 特 長 —

● 本製品 AXC-PI01 は、CompactFlash Specification Revision 1.4 に準拠した PIO アダプタカードです。『Pocket PC 2002/2003 または Windows Mobile5.0 搭載の PDA(Personal Digital Assistant)以下 PDA と記す』のカードスロットへ装着することにより、簡単にパラレル I/O の拡張ができます。

● カード内の入出力制御用 LSI、付属ソフトによって、合計 14 点の入出力ポートを 1 点毎に入出力設定可能です。

- プルアップ/プルダウンレジスタ機能搭載により、信号を1点毎にプルアップ/プルダウンに設定することが可能です。
- 出力に設定したポートを **Open Drain** 出力に設定可能。プルアップ/プルダウンレジスタと併用する事により容易に **Wired-OR** 接続が可能になります。
- 最大2点を割り込み入力に設定することが可能です。
- 付属ソフトをご使用いただくことにより PDA の画面上で視覚的に入出力の設定を行うことが可能です。



Open Drain (オープンドレイン) について

通常、ロジックの出力は0Vと3.3V(または5V)の2種類の状態となります。これをトータムポール出力と呼びます。これに対し **Open Drain** は0Vとオープンの2種類の状態となります。**Open Drain** は **Wired-OR** (ワイヤード-オア) 接続等に使われます。



Wired-OR (ワイヤード-オア) について

Open Drain の出力同士を複数接続すると、負論理の **OR** 回路を構成する事が出来ます。これを **Wired-OR** 接続と呼びます。

すべて揃っていますか

製品をご使用いただく前に、本体と次の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

万一、不足の品がございましたらお手数ですがお買上げの販売店もしくは弊社までご連絡ください。

製品に同梱されるもの

- ・ AXC-PI01 本体 1
- ・ 入出力コネクタ付ケーブル 1
- ・ サポートディスク(CD-ROM) 1
- ・ 保証書/お客様登録カード 1

ご注意

1. 本製品の外観や仕様及び取扱説明書に記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
2. 取扱説明書に記載のすべての事項について、株式会社アドテックシステムサイエンスから文書による許諾を得ずに行う、あらゆる複製も転載も禁じます。
3. この取扱説明書に記載されている会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。
4. 取扱説明書の内容を十分に理解しないまま本製品を扱うことは、絶対におやめください。本製品の取扱いについては安全上細心の注意が必要です。取扱説明を十分に理解してから本製品をご使用ください。
5. 本製品をお使いいただくには、PDA や Windows についての一般的な知識が必要です。本書は、お読みになるユーザーが PDA や Windows の使い方については既にご存知であることを前提に、製品の使いかたを説明しています。もし、PDA や Windows についてご不明な点がありましたら、それらの説明書や関係書籍等を参照してください。

保証規定

1. 保証の範囲

- 1.1 この保証規定は、弊社—株式会社アドテックシステムサイエンスが製造・出荷し、お客様にご購入いただいたハードウェア製品に適用されます。
- 1.2 弊社によって出荷されたソフトウェア製品については、弊社所定のソフトウェア使用許諾契約書の規定が適用されます。
- 1.3 弊社以外で製造されたハードウェア又はソフトウェア製品については、製造元／供給元が出荷した製品そのままを提供いたしますが、かかる製品には、その製造元／供給元が独自の保証を規定することがあります。

2. 保証条件

弊社は、以下の条項に基づき製品を保証いたします。不慮の製品トラブルを未然に防ぐためにも、あらかじめ各条項をご理解のうえ製品をご使用ください。

- 2.1 この保証規定は弊社の製品保証の根幹をなすものであり、製品によっては、その取扱説明書や保証書などで更に内容が細分化され個別に規定されることがあります。したがって、ここに規定する各条項の拡大解釈による取扱いや特定目的への使用に際しては十分にご注意ください。
- 2.2 製品の保証期間は、製品に添付される「保証書」に記載された期間となり、弊社は、保証期間中に発見された不具合な製品について保証の責任をもちます。
- 2.3 保証期間中の不具合な製品について、弊社は不具合部品を無償で修理又は交換します。ただし、次に記載する事項が原因で不具合が生じた製品は保証の適用外となります。
 - 事故、製品の誤用や乱用
 - 弊社以外が製造又は販売した部品の使用
 - 製品の改造
 - 弊社が指定した会社以外での調整や保守、修理など
- 2.4 弊社から出荷された後に災害又は第三者の行為や不注意によってもたらされた不具合及び損害や損失については、いかなる状況に起因するものであっても弊社はその責任を負いません。
- 2.5 原子力関連、医療関連、鉄道等運輸関連、ビル管理、その他の人命に関わるあらゆる事物の施設・設備・器機など全般にわたり、製品を部品や機材として使用することはできません。もし、これらへ使用した場合は保証の適用外となり、いかなる不具合及び損害や損失についても弊社は責任を負いません。

安全上の注意

ここに示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は、誤った取扱いで生じる危害や損害の大きさ、又は切迫の程度によって内容を「警告」と「注意」の2つに分けています。「警告」や「注意」はそれぞれ次のことを知らせていますので、その内容をよくご理解なさってから本文をお読みください。

警告： この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりすることがあります。

注意： この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物に損害を受けたりすることがあります。



—— 感電や火災の危険があります ——

- 本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一、発熱、煙が出ている、異臭がするなどの異常に気がついた場合は速やかに所定の手順にしたがいPDAの電源スイッチをきり、その後に本製品を取り外してください。異常状態のまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
- 万一、金属片、水、その他の液体等の異物が機器の内部に入った場合は速やかに所定の手順にしたがいPDAの電源スイッチを切り、その後に本製品を取り外してください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
- 付属のケーブル以外のものは使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 付属ケーブルを取り外すときにケーブルを引っ張らないでください。ケーブルをいため、火災や感電の原因となることがあります。

- 本製品や付属ケーブルの上に物を置かないでください。また、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。製品やケーブルをいため、火災や感電の原因となることがあります。
- 本製品の駆動電源電圧は 3.3V となっております。ご使用になる PDA のコンパクトフラッシュ用の電源電圧が 3.3V であることを確認してから本製品を使用してください。万一、5V 電圧等の規定外の電源電圧を本製品に入力すると製品の破損だけではなく火災や感電の原因のおそれがあります。



取扱いによっては
—— けがをしたり機器を損傷したりすることがあります ——

- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
- 故障、誤動作等の原因となりますのでご使用の際には、静電気にご注意ください。
- 直射日光のあたる場所や、極端に高温・低温になる場所、および湿度の高い場所、ほこりの多い場所での使用、保管は行なわないでください。
- 急激な温度差を与えると結露が発生します。発生した場合は必ず時間をおき、結露が無くなってから使用してください。
- カードの差込方向にご注意ください。カードのコネクタは逆差し防止構造になっていますが、無理に押し込もうとするとカードコネクタやカードが破損する場合があります。
- カードコネクタ端子にふれないでください。接触不良や故障の原因となることがあります。

1. 製品の仕様

I/F 仕様	CompactFlash Specification Revision 1.4 準拠 CF+
I/O 仕様	3.3V 駆動 LVTTTL Level (5V トレラント入力)
I/O 数	入出力 14 点(入出力方向は 1 点毎ソフト設定可能)GND 1 点*
出力時出力電圧(電流)	$V_{oh} = 2.4V \text{ Min}$ ($I_{oh} = -4.0mA$) $V_{ol} = 0.4V \text{ Max}$ ($I_{ol} = 8.0mA$)
入力時入力電圧	High レベル Min 2.0 MAX 5.0V Low レベル Min 0V MAX 0.8V 5V トレラント入力のため、MAX 5.0V 迄の電圧を印加可能
対応機種	Pocket PC 2002/2003、Windows Mobile 5.0 準拠品
対応 OS	Microsoft® Pocket PC 2002/2003 Software 日本語版 Windows Mobile 5.0 software for Pocket PC 日本語版**
電源	3.3V システム対応 CompactFlash ホスト側から供給
動作温度範囲	0℃～60℃
動作湿度範囲	20%～80% (結露しないこと)
保存温度範囲	-20℃～70℃
外形サイズ	Compact Flash Specification Revision 1.4 準拠 TYPE I カード 幅 約 31(mm)×奥行約 37(mm)× 厚さ 約 3.5(mm)
重量	約 10g
付属ケーブル	15Pin D-sub メス付属 約 500mm
消費電流	TYP 100mA

* I/O の設定についてはサポートディスク内に収めてあります axcpi01_ppc.pdf をご参照ください。

** Windows Mobile 5.0 では、デバイスを挿入した状態で電源投入を 2 回以上繰り返すと、デバイスが抜かれたままと同じ状態になる場合があります。その場合、一旦デバイスを抜き、再度挿入してください。

— 使用スロットに関して —

本製品は、3.3V 専用カードです。PC カード変換アダプタなどを使用し、ノート PC 等で本製品をご使用になる場合にノート PC の機種によっては、差込と同時に 5V 電源電圧が印加されてしまいます。5V の電源電圧を本製品に印可すると製品の破損だけではなく火災や感電、ノート PC の故障等予期せぬ事故が発生する可能性があります。

本製品を以下の使用条件に基づいたカードスロットを使用することにより故障等予期せぬ事故を回避して安全にご使用になれます。

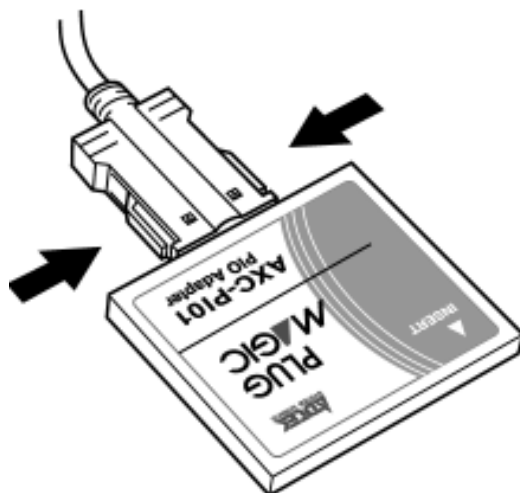
- ・ CF+ and Compact Flash Specification Revision 1.4 以上に準拠した CF カードスロット TYPE I または TYPE II
- ・ PC Card Standard 95 以上に準拠した PC カードスロット TYPE I または TYPE II を持つもの
- ・ カードスロットが、DC 3.3V 電圧に対応しているもの
(DC 5V 電圧のみで動作するパソコンなどでは使用できません)

また、メモ리카ード専用スロット、TrueIDE モードのみをサポートする CF カードスロットではご使用出来ません。ノート PC などで御使用になる場合には、前もってご使用になるノート PC のメーカーに DC3.3V 電圧に対応しているか、お問い合わせください。

2. カードの取り付け、取り外し

2-1. 付属ケーブルのカードへの取付け方

カードの上面(PLUG MAGIC の文字が見える側)と付属ケーブルのカード側コネクタの上面(金属部分があるほう)を合わせ、ロック部分を矢印の方向に押した状態でカードへ静かに差し込みます。



※ロッキングがしっかり嵌合したことを確認してください。

※接続ケーブルを無理に曲げたり、コネクタとカードとの接続部に無理な力を加えたりすると動作不良や故障の原因になります。

2-2. 付属ケーブルの取り外しかた

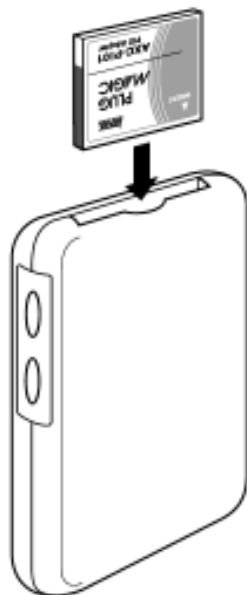
ケーブル取付けと同様に 2-1 図を参考にロック部分を矢印の方向に押した状態で、カードからケーブルを静かに取り外します。

※PDA がカードにアクセスしていないことを確認した後に、カードからケーブルを取り外してください。

2-3. PDA へのカード取付け方

PDA のカードスロットにカードを差し込みます。

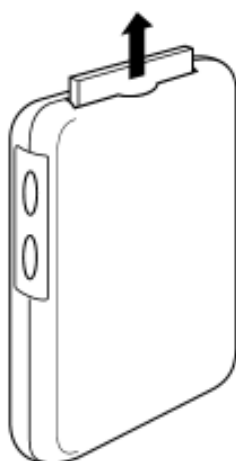
下図を参考にカードのインターフェース・コネクタ側を PDA のカードスロットに静かに差し込みます。



※お使いになる PDA の機種によっては参考図とインターフェース・コネクタの機構、CF カードの取り付け向き等が異なることがあります。カードの取付けの際にはご使用になる PDA の取扱説明書をご参考にカードの装着を行ってください。

2-4. カードの取出し

カードを PDA から取り出す時は、データの転送を行っていないことを確認し、カードを PDA から静かに取出します。



3. ソフトウェアの組み込み

本製品をご使用になるためには、製品専用のソフトウェアをお客様がご使用になります PDA に組み込みこむ必要があります。専用ソフトをインストールするにはサポートディスク内に収めております、ソフトウェアマニュアルの手順にしたがい必要なソフトウェアのインストールを行ってください。

4. アプリケーションの作成

AXC-PI01 は、PDA 用のデバイスドライバ、専用ライブラリ (DLL)等が付属しています。これらのファイルは、サポートディスク内に収めてあります。また、サポートディスクには、デバイスドライバのアクセス方法や、実際に動作するプログラムのソースコードが入っております。アプリケーションプログラム作成の際にご参考ください。

4-1. 操作手順、アプリケーションの作成

AXC-PI01 専用ドライバ、アプリケーションの作成方法については、サポートディスク内に収めてありますソフトウェアマニュアルにしたがい、作業を行なってください。

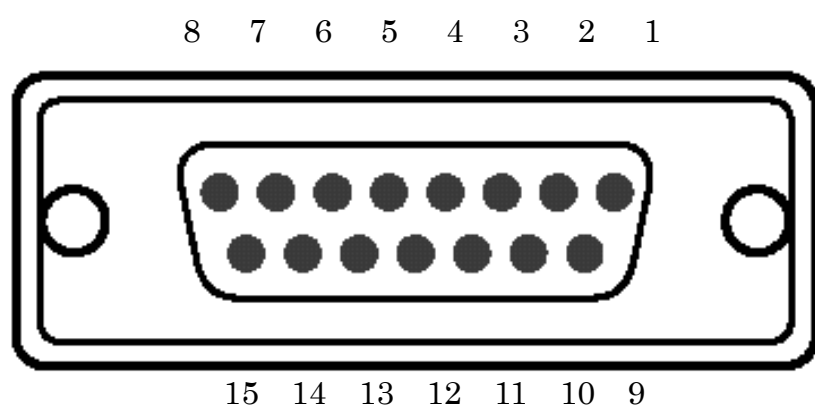
5. 外部信号との接続

5-1. コネクタ信号

スイッチや接点または外部信号を取り込む際、付属ケーブルから外部接続用 Dsub15Pin コネクタ(メス)に市販コネクタや、市販の Dsub15Pin コネクタ(オス)付ケーブルに接続してください。
以下、付属ケーブルのコネクタ信号について説明いたします。

使用コネクタ：ヒロセ電機株式会社製：HDAB-15S または相当品
嵌合コネクタ：ヒロセ電機株式会社製：HDAB-15P または相当品

嵌合面視図

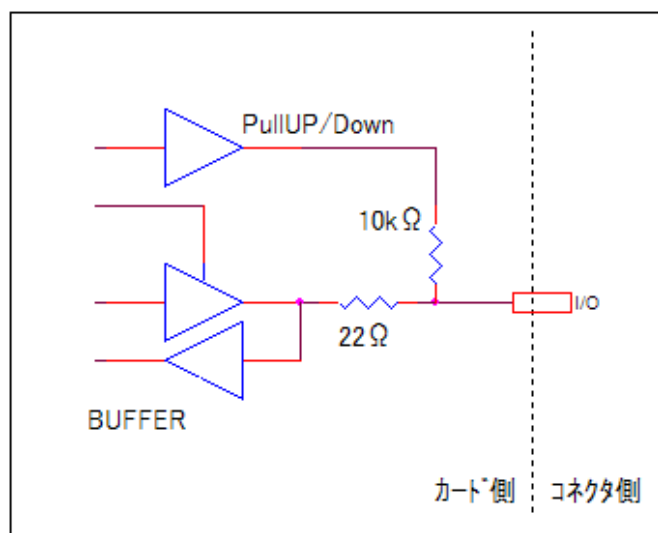


ピン番号	信号名	解説
15	GND	グラウンド(Ground)
14	DIO13／IRQ1	添付ソフトで I/O 設定可能
13	DIO12／IRQ0	添付ソフトで I/O 設定可能
12	DIO11	添付ソフトで I/O 設定可能
11	DIO10	添付ソフトで I/O 設定可能
10	DIO9	添付ソフトで I/O 設定可能
9	DIO8	添付ソフトで I/O 設定可能
8	DIO7	添付ソフトで I/O 設定可能
7	DIO6	添付ソフトで I/O 設定可能
6	DIO5	添付ソフトで I/O 設定可能
5	DIO4	添付ソフトで I/O 設定可能
4	DIO3	添付ソフトで I/O 設定可能
3	DIO2	添付ソフトで I/O 設定可能
2	DIO1	添付ソフトで I/O 設定可能
1	DIO0	添付ソフトで I/O 設定可能

※入出力の設定についてはソフトウェアマニュアルをご参考ください。

5-2. 入力信号等価回路

以下に本カードの入出力信号の等価回路を示します。入出力回路には特別な保護回路はありません。よって過大電圧を加えたり、出力信号を GND 信号や他の出力信号とショートしたりすると CF カードの故障の原因となります。なお、入力時は 5V トレラント機能を有していますが、出力設定時 5V トレラント機能は付加されません。外部に 5V または 3.3V を印加した際に出力設定を行いますと、故障の原因となります。十分に御注意ください。(Open Drain 同士の接続では問題ありません)



※ I/O = 1~14 Pin

5-2. 内部レジスタ

本カードでサポートしている I/O のエントリは以下の 4 種類となります。弊社提供のドライバは、以下の中から 1 つのエントリを選択し、使用します。

エントリ	ウインドウ	I/O ベースアドレス
0 (Default)	300h~30Fh	300h
1	280h~28Fh	280h
2	380h~38Fh	380h
3	200h~20Fh	200h



ウインドウとは本カードで使用する I/O アドレスの範囲のことです。

本カードは以下の5種類のレジスタを持っています。各レジスタは16ビット幅となります。全てのレジスタはバイトアクセス、ワードアクセスが可能です。

I/O ベースアドレス	レジスタ名	機能
+ 0	Data Register (R/W)	送受信データバッファ
+ 2	I/O Select Register(R/W)	入出力の切替え
+ 4	Output Mode Register (W)	オープンドレインの切替え
+ 6	PU/PD Select Register (W)	プルアップ/プルダウンの切替え
+ 8	IRQ Register(R/W)	IRQ 設定用

また、コネクタの信号名 DIO0～13 は、IRQ Register を除く各16ビットレジスタの D0～13 に対応します。

本カードのレジスタで使用していないビットは不定値が読み出されますので、ソフトウェア上でマスクする等の処理をしてください。

各レジスタの詳細を説明します。表中の『DEF』は初期時(カード挿入時またはリセット時)の値となります。

■Data Register (D13～D0) 属性 : Read/Write

DAT	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
SYM	X	X	DR13～0													
DEF	X	X	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

データ送受信レジスタです。「I/O Select Register」で0に設定したビットが出力となり、1に設定したビットは入力となります。データをライトした場合、そのデータは保持され、出力に設定したビットに対応する I/O コネクタの信号に反映されます。データをリードした場合、対応した I/O コネクタの信号状態が読み込まれます。

このレジスタに1を書き込んだ場合、対応する信号はハイレベル(またはオープン)になり、0を書き込んだ場合はローレベルになります。また、このレジスタの読み込みの際もハイレベルが1、ローレベルが0となります。

■I/O Select Register (D13～D0) 属性 : Read/Write

DAT	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
SYM	X	X	IOS13～0													
DEF	X	X	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

Data Register の入出力属性を設定するレジスタです。0に設定したビットが出力モードとなります。1に設定したビットは入力モードとなります。またこのレジスタはライトした値をリードバックすることが可能です。

■Output Mode Register (D13～D0) 属性 : Write

DAT	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
SYM	X	X	OMI13～0													
DEF	X	X	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

出力バッファの特性を切り替えるレジスタです。0 に設定した場合は オープンドレイン出力になります。

1 に設定した場合は、トーテムポール出力になります。

■PU/PD Select Register (D13～D0) 属性 : Write

DAT	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
SYM	X	X	PDE13～0													
DEF	X	X	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

プルアップ/プルダウンを切り替えるレジスタです。

0 に設定した場合は、対応する信号がカード内部でプルダウンされます。1 に設定した場合はプルアップされます。

■IRQ Register (D9,D8 及び D3～0)

DAT	D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
SYM	X	X	X	X	X	X	IRQ CLS2	IRQ CLS1	X	X	X	X	IRQI N2	IRQ IN1	IRQ EN2	IRQ EN1
DEF	X	X	X	X	X	X	1	1	X	X	X	X	1	1	1	1

ビット	名称	属性	機能
D9	IRQCLS2	R/W	IRQ2 Clear/Status
D8	IRQCLS1	R/W	IRQ1 Clear/Status
D3	IRQIN2	Read Only	IRQ2 Input
D2	IRQIN1	Read Only	IRQ1 Input
D1	IRQEN2	R/W	IRQ2 Enable
D0	IRQEN1	R/W	IRQ1 Enable

本カードでは DIO12,DIO13 を割り込み要求信号として使用する事ができます。割り込みは信号の立下りエッジで発生し、割り込み要因をクリアするまで新たな割り込みは発生できません。

以下、IRQ Register の各ビットの機能を説明します。

D9 : IRQCLS2

D8 : IRQCLS1

対応する IRQEN_x が “0” の時機能します。

リード時はこのビットに書き込んだ値がリードバックされます。

ライト時は “0” を書き込むと、対応する割り込み要因がクリアされます。IRQIN_x が “1” であれば “0” にクリアされ、再度割り込みを発生させる事が可能になります。

“0” を書き込んだ後はこのビットを “1” へ戻してください。“0” の間割り込み要因はクリアされ続けます。

D3 : IRQIN2

D2 : IRQIN1

対応する IRQEN_x が “0” の時機能します。

割り込み要因が発生した場合、“0” にセットされ、割り込み要因をクリアすると “1” になります。リード時はこれらの状態が読み込まれます。

IRQIN2

IRQ2 (外部 I/O コネクタ 14Pin)

IRQIN1

IRQ1 (外部 I/O コネクタ 13Pin)

の入力に対応します。

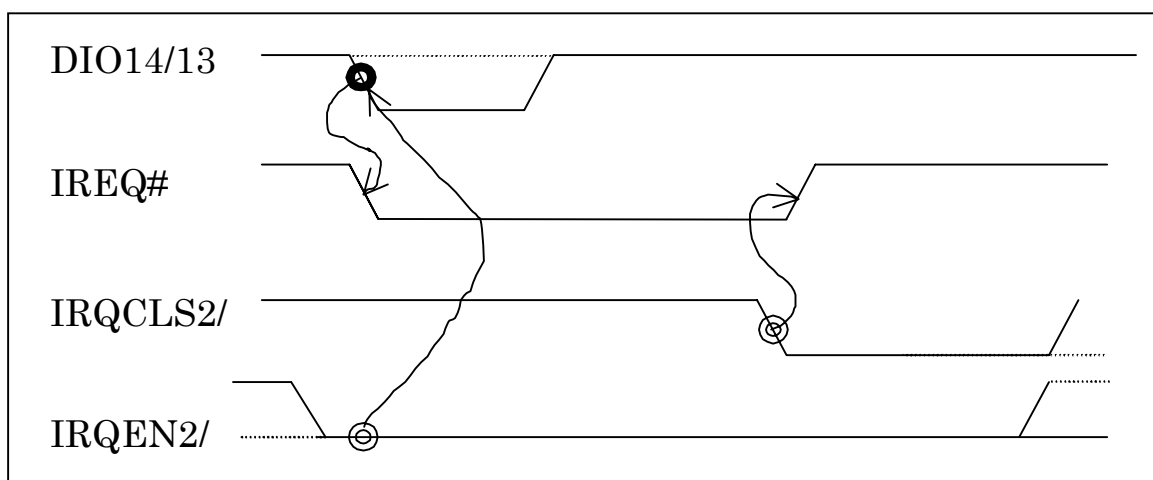
D1 : IRQEN2

D0 : IRQEN1

ライト時はこのビットに “0” を書き込む事で、IRQ2(外部 I/O コネクタ 14Pin)および IRQ1 (外部 I/O コネクタ 13Pin) を割り込み入力に設定します。

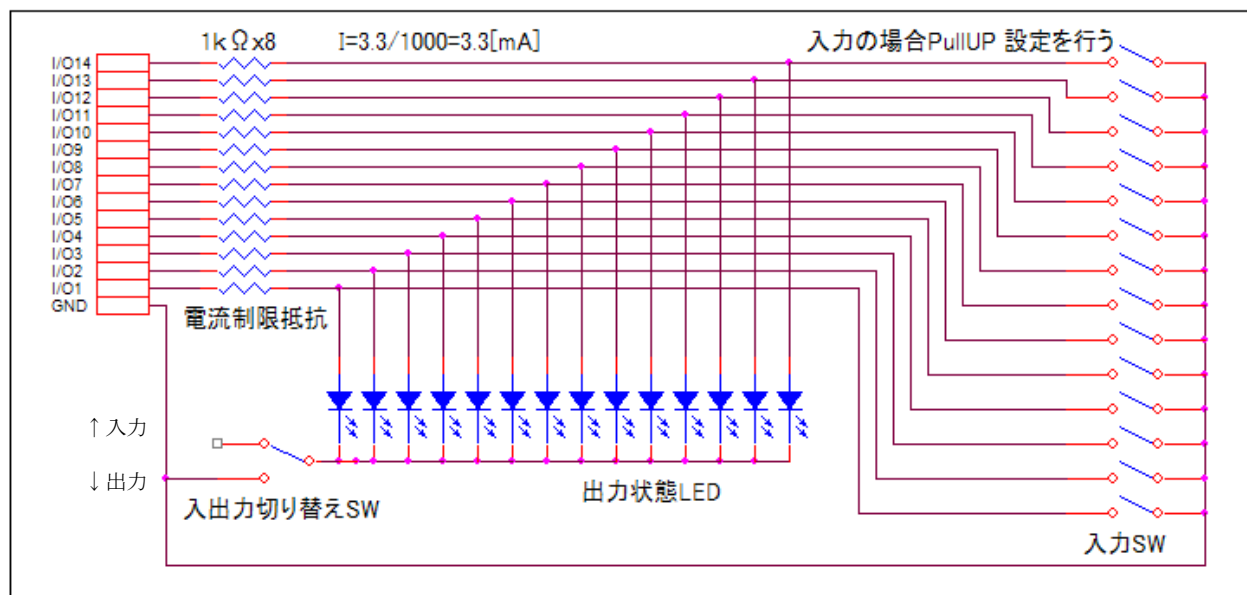
リード時は書き込んだ状態がリードバックされます。なお、割り込み設定にする/しないにかかわらず、Data Register の機能に影響はありません。

IRQ 入力図



割り込み入力、外部 I/O ピンからの立ち下がりエッジを保持し、CompactFlash IREQ#ピンへ “L” レベルで出力されます。各割り込み要因は OR されています。

5-3. 信号接続例



～ 出力検査方法 ～

入出力切替え SW を上接続図で下側にし入力 SW を全てオープンにすれば、出力状態 LED が使用可能になります。

初期状態では、PU/PD Select Register が PullUP 設定(“1”)になっているため、LED の種類によっては弱い光で点灯しているはずです。

初期設定(全てのレジスタが“1”の状態)から I/O Select Register の出力したいビットを“0”に設定してみましょう。対応ビットの LED が点灯します。以上の設定で出力の準備が整いました。

ために Data Register に“0”や“1”を書き込んでみましょう。LED が点滅しましたか？

～ 入力検査方法 ～

入出力切替え SW を上図で上側に切替え、PU/PD Select Register を PullUP 設定(“1”)にした場合、LED の接続が切り離され入力 SW の ON/OFF により入力の検査ができます。

初期状態では、入力設定になっていますので設定後 入力 SW を ON/OFF し、Data Register を読み込んでみましょう。Data Register の値が変化するはずです。

☆ 注意 ☆

本製品の最大出力電流値(Ioh)は 4mA ですので、過電流保護のため必ず 1kΩ 程度抵抗(3.3mA)の抵抗等を並列に入れてください。

製品のメンテナンスについて

- ◆ハードウェア製品の故障修理やメンテナンスなどについて、弊社—株式会社アドテックシステムサイエンスでは、製品をお送りいただいて修理/メンテナンスを行い、ご返送する、センドバック方式で承っております。
- ◆保証書に記載の条件のもとで、保証期間中の製品自体に不具合が認められた場合は、その製品を無償で修理いたします。保証期間終了後の製品について修理が可能な場合、又は改造など保証の条件から外れたご使用による故障の場合は、有償修理となりますのであらかじめご了承ください。
- ◆修理やメンテナンスのご依頼にあたっては、保証書を製品に添え、ご購入時と同程度以上の梱包状態に『精密部品取扱注意』と表示のうえお送りください。また、ご送付されるときは、製品が迷子にならないよう、前もって受付担当者をご確認ください。製品が弊社に到着するまでの事故につきましては、弊社は責任を負いかねますので、どうか安全な輸送方法をお選びください。
- ◆以上の要項は日本国内で使用される製品に適用いたします。日本の国外で製品を使用される場合の保守サービスや技術サービス等につきましては、弊社の各営業所にご相談ください。

製品のお問い合わせについて

- ◆ お買い求めいただいた製品に対する次のようなお問い合わせは、お求めの販売店又は株式会社アドテックシステムサイエンスの各営業所にご連絡ください。
 - ・お求めの製品にご不審な点や万一欠品があったとき
 - ・製品の修理
 - ・製品の補充品や関連商品について
 - ・本製品を使用した特注製品についてのご相談
- ◆ 技術サポート ——— 技術的な内容のお問い合わせは、「ファックス」「郵送」「E-mail」のいずれかで、下記までお問い合わせください。また、お問い合わせの際は、内容をできるだけ詳しく具体的にお書きくださるようお願いいたします。

—————技術的な内容のお問い合わせ先—————

株式会社 アドテック システム サイエンス テクニカルサポート
〒240-0005
神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 YBP ウエストタワー 8F
E-mail support@adtek.co.jp
Fax 045-331-7770

改訂履歴

発行年月日	2003 年 06 月 26 日	第 1 版発行
	2004 年 09 月 07 日	第 2 版発行
		PocketPC2003 対応記載
		弊社住所変更
	2007 年 07 月 25 日	第 3 版発行
		Windows Mobile5.0 対応記載

AXC-PIO1
ユーザーズマニュアル

第3版発行 2007年7月25日
発行所 株式会社 アドテック システム サイエンス
〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
YBP ウエストタワー 8F
Tel 045-331-7575 (代) Fax 045-331-7770

不許複製

AXC-001-070725
© 2003 – 2007 ADTEK SYSTEM SCIENCE Co.,Ltd.